

産業廃棄物収集運搬業務

参考資料 4

1 業務内容

- (1) 本業務は、産業廃棄物の収集運搬業務及び中間処理施設での中間処理業務を行う。
- (2) 本契約を締結するにあたっては、指定管理者の産業廃棄物収集運搬業及び同処分業の許可証の写しを添付するとともに、その事業範囲を契約書に記載するものとする。ただし、契約期間内に当該許可証明書が更新された場合にあっては、乙は直ちに変更後の許可証の写しを甲に提出しなければならない。
また、電子マニフェストの運用に必要な情報（加入証、加入者番号等）を契約時に提出すること。
- (3) 産業廃棄物の処理にあたっては、施設の実情にあわせて廃棄物の種類や数量を適正に盛り込むこと。収集・運搬と処分をそれぞれ別業者と契約して実施する場合は、標準契約書及び標準仕様書の提供を豊田市に申し出ることとし、提供された書式を参考に適切な契約を締結すること。

2 マニフェストについて

本契約における廃棄物の処理報告は電子マニフェストで実施すること。このため収集運搬、中間処理施設においては電子マニフェストに対応できるよう体制を整えておくこと。（紙マニフェストの対応もできることとする）

3 法の遵守

業務を行うにあたって、廃棄物の処理及び清掃に関する法律、その他関係法令を遵守するものとする。

4 委託する産業廃棄物の種類、回数、数量等

- (1) 産業廃棄物の種類は、それぞれ次のとおりとする。

種類		具体例
産業 廃 棄 物	廃プラスチック類	ポリ袋、ラップ、ゴム、長靴、ストロー、プラスチック製容器、化学繊維布など、軟らかいプラスチック、硬いプラスチック、発泡スチロールなど
	金属くず	なべ、やかん類、針金類、缶詰、お菓子の缶など
	ガラスくず・コンクリートくず及び陶磁器くず（以下ガラスくず等）	陶磁器類、割れたビン、農薬ビン、板ガラス、電球など
	混合物 1 ①廃プラスチック類、ガラスくず等、金属くずの混合物 ②一般廃棄物（木くず、紙くず）と廃プラスチック類、ガラスくず等、金属くずの混合物	①ホッチキス等 ②木材および金属の両方が使用してある椅子等（豊田市がそれ以上一般廃棄物と分別できないもの）
	混合物 2 ガラスくず等と金属くずの混合物（以下蛍光灯という。）	蛍光灯、水銀灯等
	汚泥と金属くずの混合物（以下乾電池という。）	乾電池 ※小形二次電池等を除く
	資源 飲料用かん（金属くず）	飲料用かん
	資源 飲料用びん（ガラスくず等）	飲料用びん
	資源 ペットボトル（廃プラ等）	ペットボトル

(2)収集運搬の回数の目安は下記のとおりとし、数量は見込み数量とする。

種類		回数	数量
産業廃棄物	廃プラスチック類	年 12 回	1,000kg/年
	金属くず	年 12 回	1,700kg/年
	ガラスくず等	年 12 回	400kg/年
	混合物 1	年 2 回	2,000kg/年
	混合物 2	年 2 回	700kg/年
	飲料用かん	年 12 回	120kg/年
	飲料用びん	年 12 回	60kg/年
	ペットボトル	年 12 回	120kg/年

※自動販売機から出る飲料かん、びん、ペットボトルは数量に含まない。

(3)廃棄物の数量は、次のとおりとするがあくまでも見込み数量とする。

5 収集運搬業務

- (1) 収集運搬に際し、収集物の飛散、落下等ないように措置すること。
- (2) 収集日は、原則として火曜日から日曜日の間の午前 9 時から午後 5 時までとする。

6 指定管理者は豊田市から委託された産業廃棄物の積替え又は保管を行わない。

7 業務実施上の注意

- (1) 業務に使用する車両には、会社名また、法律に基づき産業廃棄物を運搬する車両であることを明記し業務に適した車両であること。
- (2) 業務終了後、周囲を整理清掃し美観の維持に努めること。
- (3) 業務の実施にあたり発生する機械音や臭い等を極力抑えること。